

農作物の生育状況と今後の見通し

農業振興戦略監とつとり農業戦略課 研究・普及推進室 まとめ
平成31年4月15日 現在

作物名		生育状況等	今後の見通しと対策
作物	麦	<ul style="list-style-type: none"> ・出穂は3月30日で平年に比べ早かったが、以降の低温のため穂揃い期は4月8日となった。 ・穂揃い期の穂数は600本/㎡程度で、平年の7割程度と少ない傾向である。 ・目立った病害や雑草の発生は見られていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術情報に基づく排水対策や病害防除の徹底を図る。
	ナシ	<ul style="list-style-type: none"> ・露地栽培の受粉作業は4月8日頃から始まり、早場では12、13日頃が中心となりそうである。二十世紀の開花状況は平年並み(平年の満開日15日)となっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、霜害に注意する。 ・黒星病、ケムシの発生に注意する。
	カキ	<ul style="list-style-type: none"> ・河原試験地の生育は、展葉初めが「輝太郎」4月8日(平年4月7日)、「西条」4月15日(平年4月11日)、「富有」4月9日(平年4月11日)で、平年並み～やや遅い生育となっている。 ・霜害等による大きな影響は見られない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、霜害に注意する。
果樹	ブドウ	<ul style="list-style-type: none"> ・無加温「巨峰」「ピオーネ」「シャインマスカット」は展葉3～5枚程度で、昨年より遅く、ほぼ平年並の生育とみている。 ・無加温「デラウエア」のジベレリン処理は4月10日頃(昨年4月5日頃)から始まっており、昨年より5日程度遅い。 ・3月中旬は生育が早かったが、4月上旬が低温のため新梢生育の揃いが悪い傾向である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ハウスでは春の突風に注意し、バンドの締め直しや傷んだ部分の補強を行う。 ・開花期までは新梢の生育を揃える努力をして、ジベレリンの適期処理をめざす。
	白ねぎ	<ul style="list-style-type: none"> 【春ねぎ】 肥大が進み、2L規格割合が8割程度の太物で出荷中。生育にあわせて前倒し出荷されており、早期収穫終了が見られる。早期抽台が懸念されているが、現在のところ抽台は少ない。 【夏ねぎ】 弓浜地区のトンネル作型(6月どり)は3月中旬に被覆を除去したが、その後の低温により生育がやや停滞している。7月どりはその他の地区も含め順調に生育。 【秋冬ねぎ】 4月上旬から各地区で定植が始まっている。苗の生育は例年より早い。水田圃場は3月末の天候不順で圃場準備が遅れ、定植が遅れている地域がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春ねぎは花柱の状況を確認しながら、抽台までに出荷できるよう作業する。 ・気温の上昇とともにアザミウマ類、ネギハモグリバエが急速に増加するため、4月下旬以降の防除を徹底する。 ・水田転換畑では定植予定のほ場の排水対策を徹底する。 ・定植後の乾燥は初期生育の停滞につながるため、必要に応じて灌水する。
	ブロッコリー	<ul style="list-style-type: none"> 【初夏どり】 4/15で定植はほぼ終了。3月定植分は低温の影響で生育がやや遅れている。4月1日、2日に降霜でボトニング(早期着蓄による収量低下)が懸念される。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2月、3月定植分は5月中旬頃から収穫の見込み。 ・不安定な天候で定植可能日が限定されまとまった定植となっており、5月下旬に収穫ピークが予想される。 ・定植作業が集中したため、定植後の防除がされていない圃場が多いことから菌核病をはじめ、病害虫防除を徹底する。
野菜	すいか	<ul style="list-style-type: none"> 【ハウス栽培】 3月中旬以降の低温で生育が平年より遅れ気味。4/13から交配が始まっているが、雄花の発育不良で花粉が少なく、4月2～3日の低温の影響とみられる。 【トンネル栽培】 低温の影響で、昨年と比べ、2～3日生育が遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・交配は花の状況を確認し、雄花を複数使用し花粉を十分つける。雌花の発育が悪い場合は次の花に交配することも考慮する。 ・一日の中の気温の変化が著しいため、ハウスやトンネルの換気管理をこまめに行う。 ・換気は夕方早めに閉め、保温に努め、交配期間中と果実肥大初期の夜間の保温を徹底する。 ・晴天日(気温の低い場合は特に)は、風下側を換気して急激な気温上昇による葉焼けを起こさないように注意する。 ・病害虫の予防防除を徹底する(特にハウス栽培の菌核病)。
	らっきょう	<ul style="list-style-type: none"> 福部地区、北栄地区とも生育調査では球重が平年を大きく上回っており、生育良好。分球数は平年並みであり、大玉となっているが今後、分球が予想される。 【福部地区生育調査(4/10)】 ・㎡球重:1.690gg(平年対比142%、前年対比163%)。 ・㎡球数:207球(平年対比101%、前年対比109%)。 	<ul style="list-style-type: none"> ・灰色カビ病の防除を徹底し、健全葉の確保に努める。 ・今後、降雨が無く乾燥が続く場合は、積極的に灌水し、玉肥大を確保する。
	アスパラガス	<ul style="list-style-type: none"> 【ハウス栽培】 暖冬の影響で萌芽が早く3月上旬から収穫が始まっている。農協の荷受け自体は3月中旬よりスタート。 【露地栽培】 萌芽は平年並みかやや遅れ気味で、昨年よりも遅い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・露地で保温トンネルをしている場合は、高温による穂先の乱れが発生しないよう換気に注意する。 ・立茎中の茎枯病防除を徹底する。
	にんじん	<ul style="list-style-type: none"> 【春どり】 2月下旬播種後、3月の気温が低かったため、例年より本葉1～2枚程度の生育遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> 今後の気温の上昇により、例年通りの生育となる見込み。
	リンドウ	<ul style="list-style-type: none"> 【智頭町】 ・4月1～2日の低温、4月10日の低温等により、葉色の黄化が見られる。 ・草丈は10～25cm程度 ・生育の早かった昨年より生育は遅く、例年並み。 【三朝町】 ・4月上旬の低温でやや葉色が薄い。標高500mでは10cm程度、80m地点では15～25cm程度。 	<ul style="list-style-type: none"> ・カメムシ等の被害が予想されることから病害虫の防除が必要
花き	シンテツポウユリ	<ul style="list-style-type: none"> 【露地作型】 ・智頭町:は3～4月上旬の低温の影響で生育が停滞気味、葉色も薄い。 ・八頭町:は4月上旬時点で本葉2～3枚で例年並みの生育。 ・鳥取市:育苗中。本葉2枚。平均で苗率7割。 ・倉吉市:チェーンポットは定植済み。地床育苗は2葉程度でやや遅れている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・液肥や保温により生育、葉色の回復を図る必要がある。 ・定植は4月下旬からが中心となる見込み。
	トルコギキョウ	<ul style="list-style-type: none"> ・盆前出荷用に八頭町の3戸が3月中旬に播種。低温により生育が遅れ気味。 	
	飼料用トウモロコシ	<ul style="list-style-type: none"> ・作付ほ場の準備中、堆肥散布、耕耘作業が開始されている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・4月下旬から播種が始まり、6月中下旬まで、作付計画に基づいた播種作業が続く。
畜産	イタリアンライグラス等	<ul style="list-style-type: none"> ・概ね生育は順調だが、一部標高の高いところで生育の遅れが見られる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・収穫は4月下旬から始まる見込み。
	農作業安全	<ul style="list-style-type: none"> ・平成31年4月11日広島地方気象台発表の中国地方1か月予報によると、4月20日から4月26日の期間は暖かい空気の覆われ気温は高くなる見込みが予想されている。 ・平成31年4月15日高温に関する異常天候早期警戒情報(中国地方)が発表され、中国地方では4月21日頃からの1週間は、気温が平年よりかなり高くなる確率が30%以上と見込まれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・春先は身体が暑さに慣れていないため、農作業中の熱中症には注意する。 ・体調が悪い時には、農作業を行わないようにする。 ・農作業中は30分ごとに休憩をとり、コップ1杯の水分を補給する。 ・農作業の前後にも水分の補給をする。 ・特に農業用ハウス内での作業には注意が必要。